

2016年度 学校評価報告書
(自己評価・学校関係者評価及び次年度方針)

2017年3月31日

同志社香里中学校・高等学校

学校評価委員会

はじめに

学校教育法及び同施行規則に基づき、本校において学校評価を実施するため、2016年11月、中学1年～3年の生徒と保護者、高校1年～3年の生徒と保護者、本校教員を対象に「学校評価アンケート」を配布し、2017年2月に結果を集約しました。同時にPTA役員及び同志社大学教員に学校関係者評価を実施して頂きました。この文書は本校の学校評価委員会が分析したものです。

本校は同志社大学の系列校として、中高一貫の独自の教育を行い、同志社教育の基本であるキリスト教主義にもとづき、良心教育、自由主義、国際主義をさらに発展すべく努力しています。

今回の学校評価は本校の現状及び課題を再認識する契機として位置づけ、本校が大事にしてきた教育内容が連綿として守られているかを検証する上で大いに役立つものといえます。

また、そのことがステークホルダーである生徒、保護者、他の学校関係者に対する説明責任の一環として位置づけられ、教育の質の保証を確固たるものとするために、さらなる改善に役立てていきます。

1. 建学の精神

1874年、帰国した新島は、国内外の多くの人の協力を得て1875年に京都に「同志社英学校」を設立。キリスト教にもとづいた教育をおこない、「自治自立の精神」と高度な国際感覚、そして良心をあわせもつ日本国民の育成をめざしました。以来、同志社には「一国の良心」でありたいと願う若者が全国から集い、新島の志を受け継いで社会へと羽ばたいています。

(1)キリスト教主義

いかに生きるべきかを考え、あたたかい心を養います。自らの人生を築いていくための指針を得る学習機会としてキリスト教主義教育を実践しています。日々の礼拝や聖書の授業、また市民団体と連携したボランティアやユニセフへの協力など、社会とも関わりながら学びます。

(2)自由主義

自分で考え、判断し、行動する。自立心を育む学びを展開しています。同志社香里の学習制度は、生徒が自ら主体的に学び、これからの人生を考えていけるように設計されています。少人数制の教育やキャリア教育などで自由に学び、生徒一人ひとりが可能性を大きく伸ばせるように導きます。

(3)国際主義

世界を知り、国際社会を生きるために本当に必要なことを学びます。新島襄が世界に目を向けて学んだことから同志社が生まれた伝統を重視し、わたしたちは広く世界について学ぶ国際主義を教育の柱としています。多彩な国際交流の機会を通じて、国際人に必須となる共生の心を養います。

2. 教育目標

(1)同志社スピリットにあふれる「良心」の人を育みたい

自治自立の精神をもち、良心のもとに行動できる人。それが同志社人の姿です。言い換えれば、自分で考えて判断し、信念をもって前進していく人。また、人の痛みを知り、自らの力を世の中のために役立てる人——。わたしたちはそうした「同志社スピリット」にあふれる人を育てていきたいと考えています。

「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」を土台にした同志社香里の教育は、まず第一に確かな基礎学力を育むものです。学ぶ力があってこそ未来を主体的に切り拓いていけるという考えから、週6日制のカリキュラムをはじめ、学力強化につながる先進的な学習制度を用意しています。

(2)家族のような仲間たちとともに同志社人として成長していこう

同志社の根幹となるキリスト教精神を学ぶ聖書の時間や、活躍する社会人に学ぶキャリア教育、ほかにもボランティア活動や国際イベントへの参加など、人間としての成長をうながす教育機会を豊富に設けています。伝統的に活発なクラブ活動も、よき学びの場の一つ。目標の実現に向けて全力を尽くす経験から、学べるものは決して少なくありません。

受験勉強にとらわれないで学ぶ豊かな時間は、多感な若者にとって人生の大きな糧となるでしょう。また、個性豊かな仲間たちと切磋琢磨するなかで、強くなっていく同志社人としての絆は、生涯の大切な財産になると思います。個性と学力と可能性を大きく伸ばし、同志社香里でともに大きく成長することを願っています。

3. 2016年度(平成28年度)の学校目標

建学の精神の具現化を目指し、本校の教育目標の達成を図るため、2016年度(平成28年度)は前年度に続き以下の内容を重点目標に掲げて、教育活動に取り組みました。

- (1)同志社スピリットに根ざした個性溢れる仲間づくり
- (2)同志社スピリットに根ざした国際性豊かな人材の育成
- (3)同志社スピリットに根ざした生きる力を育む確かな学力の修得
- (4)地域・家庭との連携を深め、分掌・学年・教科の協働体制の構築

■2016年度(平成28年度) 学校目標と具体的方策及び評価指標

評価項目	具体的方策	方策の評価指標
仲根同 間ざ志 づし社 くたス り個ビ 性リ 溢ッ れるに	聖書を学ぶ時間を通し、キリスト教主義の理解を深める	同志社スピリットの柱である「キリスト教主義」の理解度が70%以上
	行事(文化祭、体育祭など)を通じて、一人ひとりの個性を發揮するとともに、お互いを尊重する風土を醸成する	行事、生徒会、部活の満足度70%以上。学校が楽しい、友人関係がよいが70%以上
	個性に応じた特別教育(部活動など)の場を設け、一人ひとりの個性を伸ばす活動の場を提供する	部活動の種類が多く、参加率70%以上。施設・設備を充実させ、満足度が70%以上
な根同 人ざ志 材し社 のたス 育国ピ 成際リ 性ッ 豊ト かに	海外留学、海外語学研修、海外修学旅行を通して、国際理解を促進するとともに、国際社会への興味関心を深める	海外渡航経験者(修学旅行を含む)が全校生徒の50%以上。国際理解教育に注力しているとの評価が70%以上
	海外提携校との交流を促進することによって、日常の学校生活のなかで国際理解を深め、国際人としての素養が身につくようにする	毎年、留学生を受け入れ、在校生との交流を図っている
	コミュニケーションツールとしての英語教育に力を入れ、読む、書く、聞く、話す能力を授業や課外の活動によって習得できるようにする	英会話の授業時間を確保し、英検取得を推奨する。高校卒業時で英検準2級取得率を70%以上とする
得育根同 むざ志 確し社 かたス な生ピ 学きリ 力るッ のカト 修をに	授業を基本に据え、基礎学力の向上を図る。併せて家庭学習による主体的学びの習慣を身につけ、読書等によって教養が広がるようにする	授業評価(わかりやすい、工夫、納得)が70%以上。家庭学習と読書の習慣定着率50%以上
	表現する機会(文化祭、探究発表など)を通じて、主体的に学び、自分の考えを発表する能力が身につくようにする	学年もしくは全校レベルでの表現・プレゼンテーションする機会を提供する
	高大連携によって、将来の仕事や学問に対する興味関心の喚起を図り、進路選択を考える機会を提供していく	同志社大学に関する情報提供を行い、高大連携授業を実施する
の年を地 構・深域 築教め・ 科・家 の分庭 協掌と 働・の 体学連 制携	地域活動への積極的参加を促し、保護者に対する情報発信の頻度を高め、教育活動の理解を促進する	ボランティア活動の参加を推奨し、PTA等の連携を図る。家庭向けの情報発信を積極的に行う
	分掌、教科、学年会議を定期的実施し、課題解決に向けて迅速な対応をする	教員からの評価で、協働体制ができているとの評価70%以上
	学校評価を通じて、今年度の重点目標のPDCAサイクルを構築する	学校評価の実施と情報公開を行っている。学校評価委員会による点検の実施、課題の抽出、情報公開の評価が70%以上

4. 2016年度(平成28年度) 学校評価アンケート結果と分析

学校評価を行うにあたり、中学1～3年の生徒と保護者、高校1～3年の生徒と保護者、そして教員を対象に「学校評価アンケート」を実施しました。アンケートは、総合満足度、学校生活、生徒指導、学習指導、進路指導について質問しています。(中学生は732名、中学の保護者は599名、高校生は897名、高校の保護者は684名、教員は56名が回答)

(1) 総合満足度

総合満足度は「ロイヤリティ」(本校を友人・知人にすすめますか)と「満足度」(本校に入学してよかったですか)の平均値で算出しています。保護者と教員の「満足度」は、お子様もしくは生徒が(入学してよかったですか)の評価となっています。生徒、保護者、教員の総合満足度は、肯定的評価が90%前後と高い水準を示しています。中学生と中学及び高校の保護者の総合満足度は高く、肯定的評価が93～94%と驚異的な高さを示しています。最も低い高校生においても肯定的評価が88%と高い水準を示しています。

(2) 中学校

中学校の領域別評価をみると、学校生活、生徒指導、学習指導について、生徒と保護者は高い評価をしており、80%前後が肯定的評価となっています。生徒指導について、教員はやや低く、30%強が否定的評価となっており、課題がみられました。他方、進路指導について、生徒と保護者の評価は低く、課題がみられました。保護者がとりわけ低く、40%強が否定的評価となっており、早急な改善が必要といえます。

(3) 高等学校

高等学校の領域別評価をみると、学校生活、生徒指導、学習指導、進路指導について、生徒と保護者は概ね高い評価をしており、70%以上が肯定的評価となっています。ただし、学年別にみると評価に差がみられ、留意すべきものといえます。高1生徒は生徒指導と学習指導、高2生徒は学習指導と進路指導がやや低く、30%強が否定的評価となっており、課題がみられました。高1保護者は学習指導について、教員は生徒指導について、それぞれ低い傾向を示しており、留意すべきものといえます。

(4) 学校生活について

中学生は、学校が楽しい、特色ある教育、友人関係、文化祭、修学旅行、体育館・グラウンド、冷暖房について、90%以上が肯定的評価と高くなっており、満足度の高い様子が伺えます。体育祭、生徒会、部活動、トイレについて、80%以上が肯定的評価となっており、充実している様子が伺えます。他方、同志社スピリットの理解は低く、30%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

高校生も同様に学校生活について高い満足度を示しています。学校が楽しい、特色ある教育、友人関係、文化祭、体育祭、修学旅行、生徒会、部活動、体育館・グラウンド、冷暖房、トイレについて、80%以上が肯定的評価と高くなっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、同志社スピリットの理解は低く、30%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。ただし、高3生徒は70%強が肯定的評価となっており、注目されます。

中学と高校の保護者は、ほとんどの項目で高い満足度を示しています。学校が楽しく、友人関係もよい、との肯定的評価が90%以上、行事や課外活動も文化祭、修学旅行、生徒会、部活動の肯定的評価が80%以上と高い傾向を示しています。体育館・グラウンド、冷暖房、トイレなどの施設・設備の肯定的評価は90%以上と高い水準を示しています。他方、中学の保護者は全学年とも体育祭について、肯定的評価が70%以上あるものの、否定的評価が他の項目と比較して高い傾向がみられ、留意すべきものといえます。

教員は、すべての項目で高い評価をしています。学校が楽しく、友人関係もよい、との肯定的評価が90%以上と高い水準を示しています。行事や課外活動も文化祭、体育祭、修学旅行、生徒会、部活動は肯定的評価が80%以上と高い傾向を示しています。体育館・グラウンド、冷暖房、トイレなどの施設・設備も肯定的評価が90%以上と高い水準を示しています。

(5) 生徒指導について

中学生は、挨拶、遅刻、身だしなみ、先生方の協力、携帯モラル、人権教育、男女平等、性的指向、秘密を守る、事件・地震対応、緊急時の連絡網について、80%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、親身な対応について、25%が否定的評価をしており、留意すべきものといえます。とりわけ中3生徒に低い傾向がみられ、今後の課題といえます。

高校生は、項目によって評価が分かれます。挨拶、先生方の協力、携帯モラル、人権教育、男女平等、性的指向、秘密を守る、事件・地震対応、緊急時の連絡網について、70%以上が肯定的評価となっています。他方、遅刻、身だしなみ、親身な対応は、否定的評価が30%強あり、課題がみられます。

中学の保護者は、概ね肯定的評価が多い傾向を示しています。挨拶、遅刻、身だしなみ、先生方の協力、携帯モラル、人権教育、男女平等、性的指向、秘密を守る、緊急時の連絡網について、80%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、中3保護者は親身な対応、中2保護者は事件・地震対応について、それぞれ否定的評価が30%強あり、今後の課題といえます。

高校の保護者は、ほとんどの項目が肯定的評価となっており、満足度が高い様子を示しています。挨拶、遅刻、身だしなみ、先生方の協力、携帯モラル、人権教育、男女平等、性的指向、秘密を守る、緊急時の連絡網について、80%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺われます。他方、親身な対応、事件・地震対応について、否定的評価が20%強あり、留意すべきものといえます。

教員は、項目によって評価が分かれます。挨拶、親身な対応、携帯モラル、男女平等、秘密を守るについて、肯定的評価が80%以上と高くなっています。人権教育、性的指向、緊急時の連絡網について、70%以上が肯定的評価となっており、概ね十分な様子が伺われます。他方、遅刻、身だしなみ、先生方の協力、事件・地震対応について、30%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

(6)学習指導について

中学生は、項目によって評価が分かれます。授業のわかりやすさ、家庭学習、教材の工夫、理科教育、情報教育、教え方の工夫、評価基準の明示について、80%以上が肯定的評価と高くなっています。国際理解教育、質問しやすさ、努力を認めるについて、70%以上が肯定的評価となっています。大学進学の話について、50%が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

高校生は、項目によって評価が分かれます。家庭学習、教材の工夫、理科教育、情報教育、評価基準の明示について、80%以上が肯定的評価と高くなっています。授業のわかりやすさ、大学進学の話、国際理解教育、教え方の工夫、質問しやすさ、努力を認めるについて、70%以上が肯定的評価となっています。高1生徒は一部の項目で肯定的評価が低い傾向がみられ、留意すべきものといえます。

中学の保護者は、概ね満足度の高い様子が伺えます。授業のわかりやすさ、家庭学習、教材の工夫、国際理解教育、理科教育、情報教育、教え方の工夫、努力を認める、評価基準の明示について、70%以上が肯定的評価となっています。他方、大学進学の話、質問しやすさについて、30%以上が否定的評価となっており、よりキメ細かい対応が必要といえます。

高校の保護者は、項目によって評価が分かれます。授業のわかりやすさ、家庭学習、大学進学の話、教材の工夫、国際理解教育、理科教育、情報教育、教え方の工夫、努力を認める、評価基準の明示について、70%以上が肯定的評価となっており、概ね満足度の高い様子が伺えます。

高1と高2の保護者は一部の項目で否定的評価が30%強あり、課題がみられます。授業のわかりやすさ、教え方の工夫、質問しやすさについて低い傾向がみられ、よりキメ細かい対応が必要といえます。

教員は、概ね高い評価となっています。授業のわかりやすさ、家庭学習、教材の工夫、国際理解教育、理科教育、情報教育、教え方の工夫、質問しやすさ、努力を認める、評価基準の明示について、80%以上が肯定的評価となっています。

(7)進路指導について

中学生は、項目によって評価が分かれます。目標設定、同志社大学への進学情報、キャリア教育、資料の整備について、70%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、進路に関する行事、進路相談について、30%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。しかも、学年が下がるほど否定的評価が高くなる傾向がみられ、よりキメ細かい対応が必要といえます。

高校生は、すべての項目について肯定的評価が70%以上あり、満足度の高い様子が伺われます。同志社大学への進学情報、進路に関する行事について、80%以上が肯定的評価となっています。一部、高1と高2の生徒が目標設定について否定的評価が30%強あり、今後の課題といえます。

中学の保護者は、すべての項目について否定的評価が多くなっており、懸念されます。進路に関する行事について40%強の保護者が否定的評価となっており、早急に検討すべき課題といえます。また、同志社大学への進学情報について60%強は肯定的評価であるものの、けして高い水準とはいえず、よりキメ細かい対応が必要といえます。さらに進路相談や資料の整備も40%前後が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

高校の保護者は、すべての項目で肯定的評価が70%以上あり、満足度の高い様子が伺えます。同志社大学への進学情報は90%が肯定的評価をしており、十分な様子が伺えます。目標設定、進路に関する行事、進路相談について、70%強が肯定的評価となっています。

教員は、項目によって評価が分かれます。同志社大学への進学情報は90%が肯定的評価をしており、十分な様子が伺えます。目標設定、進路相談について、80%が肯定的評価となっています。進路に関する行事、資料の整備について、30%以上の教員が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

■資料(2016年度 学校評価アンケート結果)

(単位:%)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		学校に行くのが楽しい	この学校には、他の学校にない特色がある	同志社スピリットの「キリスト教精神の実践」「国際主義」を知っている	本校の友人関係はよいと思っている	文化祭は楽しく行えるよう工夫されている	体育祭は楽しく行えるよう工夫されている	修学旅行は楽しく行えるよう工夫されている	生徒・自治会活動は活発である	部活動に積極的に取り組んでいる	体育館やグラウンドは十分な広さがある	冷暖房設備が整備されている	トイレはいつも清潔に保たれている
中学・生徒	よくあてはまる	60.0	67.3	25.4	53.4	67.9	53.0	73.0	49.0	64.3	88.1	73.5	50.3
	ややあてはまる	34.0	29.6	38.4	37.8	26.8	30.1	23.1	37.4	25.4	9.6	20.6	36.9
	あまりあてはまらない	4.6	1.9	28.6	6.7	3.7	13.3	2.9	10.1	5.6	1.5	4.4	10.8
	まったくあてはまらない	1.4	0.7	7.0	1.8	1.2	3.4	1.0	1.8	4.1	0.4	1.4	1.6
	無回答	0.0	0.4	0.7	0.3	0.4	0.3		1.6	0.5	0.4	0.1	0.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	よくあてはまる	44.8	54.0	23.4	41.9	53.2	44.3	52.1	52.1	57.6	80.0	68.2	56.9
	ややあてはまる	41.6	37.9	43.1	46.2	37.0	39.6	38.8	40.1	27.6	17.4	25.5	33.4
	あまりあてはまらない	10.8	7.1	25.0	9.7	7.8	13.3	5.6	6.1	5.9	1.4	4.8	8.2
	まったくあてはまらない	2.8	0.9	8.2	1.9	2.0	2.9	2.5	1.4	8.4	0.9	1.2	1.3
	無回答	0.0	0.1	0.2	0.3	0.0	0.0	1.1	0.2	0.4	0.2	0.2	0.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	よくあてはまる	58.8	41.7	30.9	48.6	61.9	32.2	50.7	35.1	71.1	89.0	78.5	61.4
	ややあてはまる	34.9	46.1	51.9	42.4	35.1	43.2	42.7	52.3	25.2	9.2	19.2	30.6
	あまりあてはまらない	5.7	10.0	14.7	7.8	2.5	20.4	5.0	9.0	2.2	0.7	1.2	6.2
	まったくあてはまらない	0.7	1.2	2.0	1.0	0.5	4.0	1.5	0.7	0.8	0.5	0.5	1.0
	無回答	0.0	1.0	0.5	0.2	0.0	0.2	0.0	3.0	0.7	0.7	0.7	0.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	よくあてはまる	53.5	36.7	33.2	46.1	57.3	44.4	48.2	37.4	64.0	84.8	76.5	55.1
	ややあてはまる	38.0	51.3	49.9	47.4	37.0	44.0	45.3	51.6	31.1	13.9	21.5	36.3
	あまりあてはまらない	7.0	10.5	15.2	5.4	4.8	9.8	4.2	9.8	4.1	1.2	1.2	6.4
	まったくあてはまらない	1.3	0.9	1.6	0.7	0.6	1.5	1.0	0.4	0.4	0.1	0.3	1.5
	無回答	0.1	0.6	0.1	0.4	0.3	0.3	1.2	0.7	0.3	0.0	0.6	0.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	よくあてはまる	50.0	32.1	14.3	25.0	57.1	26.8	53.6	37.5	75.0	89.3	87.5	58.9
	ややあてはまる	41.1	57.1	55.4	67.9	35.7	53.6	41.1	51.8	17.9	5.4	8.9	28.6
	あまりあてはまらない	7.1	7.1	23.2	5.4	5.4	14.3	1.8	8.9	5.4	0.0	0.0	10.7
	まったくあてはまらない	0.0	1.8	3.6	0.0	0.0	3.6	1.8	0.0	0.0	3.6	1.8	0.0
	無回答	1.8	1.8	3.6	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(単位:%)

		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
		生徒は挨拶をよくしている	生徒は遅刻をしないほうだ	生徒は正しい身だしなみ(頭髪、服装など)をしている	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い	先生は協力して生徒指導にあたっている	携帯電話やインターネットなどの利用におけるモラルについて学ぶ機会がある	人権について学ぶ機会がある	学校で、男女は平等に扱われている	学校で、性的指向や性自認について嫌な思いをすることはない	先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる	事件・地震や火災などがおこった場合、どう行動したらよいか、知らされている	緊急時の連絡網はしっかり整備されている
中学・生徒	よくあてはまる	34.4	43.0	39.5	33.6	39.2	49.0	39.8	51.6	57.8	46.3	54.1	49.5
	ややあてはまる	51.5	46.2	43.3	41.7	45.6	38.7	41.8	34.7	31.7	39.8	36.7	38.8
	あまりあてはまらない	12.2	9.4	15.2	18.6	12.6	10.1	15.7	10.1	6.7	10.5	7.4	9.3
	まったくあてはまらない	1.6	1.1	1.9	5.1	1.6	1.6	2.2	3.4	3.4	2.7	1.1	1.4
	無回答	0.3	0.3	0.1	1.1	1.0	0.5	0.5	0.1	0.4	0.7	0.7	1.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	よくあてはまる	26.3	17.4	18.5	18.6	20.8	31.2	24.9	39.2	44.5	30.3	32.2	30.2
	ややあてはまる	53.5	45.6	50.7	46.8	52.8	47.5	49.4	45.4	45.8	47.4	51.8	51.4
	あまりあてはまらない	17.5	31.8	25.9	26.6	20.8	18.4	22.2	10.9	6.1	16.6	14.3	16.2
	まったくあてはまらない	2.6	5.2	4.8	7.8	5.1	2.8	3.5	4.3	3.5	5.4	1.7	2.2
	無回答	0.1	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.0	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	よくあてはまる	34.4	49.2	43.7	26.2	30.7	36.7	34.4	54.9	49.4	48.2	27.0	39.6
	ややあてはまる	50.3	43.1	47.9	49.2	49.9	45.7	49.6	39.2	43.1	45.7	45.1	47.7
	あまりあてはまらない	12.0	4.3	6.8	18.7	14.9	14.9	11.9	3.2	3.7	3.7	22.9	10.5
	まったくあてはまらない	2.7	1.3	0.8	3.3	2.5	2.0	1.7	1.2	1.2	0.7	3.3	1.3
	無回答	0.7	2.0	0.7	2.5	2.0	0.7	2.5	1.5	2.7	1.7	1.7	0.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	よくあてはまる	34.8	37.3	33.6	23.7	26.9	28.7	28.8	45.0	45.2	42.5	25.1	37.4
	ややあてはまる	51.0	51.2	52.3	51.9	53.4	54.4	56.3	49.0	50.0	50.6	50.7	51.8
	あまりあてはまらない	11.4	9.5	12.4	19.0	15.9	14.8	11.5	4.4	3.5	5.4	21.5	9.1
	まったくあてはまらない	2.5	0.9	1.0	3.9	2.3	1.9	2.2	0.6	0.3	0.6	1.6	1.3
	無回答	0.3	1.2	0.6	1.5	1.5	0.3	1.2	1.0	1.0	0.9	1.0	0.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	よくあてはまる	23.2	10.7	7.1	37.5	17.9	26.8	26.8	23.2	51.8	48.2	19.6	28.6
	ややあてはまる	60.7	51.8	60.7	53.6	48.2	60.7	60.7	55.4	35.7	44.6	44.6	42.9
	あまりあてはまらない	14.3	33.9	28.6	7.1	26.8	8.9	8.9	17.9	12.5	7.1	26.8	23.2
	まったくあてはまらない	0.0	1.8	1.8	0.0	5.4	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	7.1	3.6
	無回答	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(単位:%)

		25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
		授業はわかりやすい	家庭学習をするよう宿題・課題が定期的に出されている	大学進学の話をおりする先生が多い	手づくりの教材やプリントを使う先生が多い	異文化体験などを通しての国際理解教育が充実している	実験・実習・観察など理科教育が充実している	パソコンなどを活用した授業や情報教育が充実している	教え方に工夫をしている先生が多い	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる	評価の仕方や基準について、事前に示されている
中学・生徒	よくあてはまる	37.0	56.4	17.5	47.1	35.7	61.9	39.2	41.5	35.7	36.1	45.6
	ややあてはまる	52.5	35.7	32.7	40.4	42.1	32.7	42.6	43.4	40.3	41.8	41.4
	あまりあてはまらない	9.3	7.1	37.7	10.1	18.0	3.8	13.9	12.3	18.9	16.9	10.2
	まったくあてはまらない	1.2	0.8	11.1	1.4	1.9	0.7	3.1	1.8	4.1	4.1	1.6
	無回答	0.0	0.0	1.1	1.0	2.3	1.0	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	よくあてはまる	17.4	39.5	28.8	37.5	25.3	32.2	33.0	24.3	25.3	23.0	31.8
	ややあてはまる	57.6	47.7	47.3	51.2	46.6	48.3	48.3	49.5	48.0	48.7	53.4
	あまりあてはまらない	20.0	11.1	21.4	9.3	22.4	15.7	14.9	21.7	20.2	22.2	12.2
	まったくあてはまらない	4.9	1.6	2.1	1.8	5.2	3.5	3.3	4.1	6.1	5.8	2.3
	無回答	0.1	0.1	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	よくあてはまる	21.0	27.5	8.8	30.4	27.4	36.2	26.2	21.2	22.7	31.1	29.7
	ややあてはまる	54.8	46.4	33.4	48.1	49.4	51.4	52.3	51.8	44.1	48.7	50.4
	あまりあてはまらない	20.0	20.2	43.7	16.4	18.9	9.5	17.2	21.7	26.4	14.9	14.7
	まったくあてはまらない	3.2	4.5	9.5	1.0	1.7	0.3	1.0	2.0	4.5	2.5	3.7
	無回答	1.0	1.3	4.5	4.2	2.7	2.5	3.3	3.3	2.3	2.8	1.5
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	よくあてはまる	13.7	29.2	20.9	24.1	31.3	23.8	25.6	18.9	22.8	25.7	26.2
	ややあてはまる	56.4	53.4	51.2	53.8	53.7	55.6	54.1	51.9	47.7	56.6	55.6
	あまりあてはまらない	26.8	14.6	23.5	17.3	11.4	17.0	16.5	23.8	23.2	14.3	14.9
	まったくあてはまらない	2.8	1.9	1.9	0.7	2.0	1.0	1.6	2.2	4.1	1.8	1.8
	無回答	0.3	0.9	2.5	4.1	1.6	2.6	2.2	3.2	2.2	1.6	1.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	よくあてはまる	17.9	35.7	30.4	46.4	42.9	50.0	28.6	46.4	39.3	37.5	37.5
	ややあてはまる	66.1	53.6	44.6	46.4	44.6	44.6	51.8	44.6	50.0	44.6	51.8
	あまりあてはまらない	14.3	8.9	23.2	5.4	10.7	3.6	17.9	7.1	7.1	14.3	8.9
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	0.0
	無回答	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(単位:%)

		36	37	38	39	40	41	42	43
		進路に関して明確な目標・夢が持てる指導がされている	同志社大学への進学に関する情報が十分に提供されている	進路選択に役立つ行事や講演会などが充実している	進路に関して個別の相談に丁寧に応じてくれる	6年間を見通した進路指導・キャリア教育が充実している	進路について調べたいときに、必要な資料・設備が整っている	知り合いや後輩に本校への入学をすすめる	この学校に入学してよかったと思う
中学・生徒	よくあてはまる	23.6	32.8	22.0	24.2	31.6	30.7	69.8	78.7
	ややあてはまる	48.4	43.3	41.5	40.8	44.9	44.8	23.2	16.7
	あまりあてはまらない	21.0	16.4	26.5	25.4	16.1	17.5	4.0	2.5
	まったくあてはまらない	4.0	4.0	5.9	5.5	3.6	3.4	1.5	0.5
	無回答	3.0	3.6	4.1	4.1	3.8	3.6	1.5	1.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	よくあてはまる	19.1	37.3	29.7	23.5	23.2	25.9	47.6	62.2
	ややあてはまる	51.4	52.0	51.8	51.6	53.4	50.6	36.2	29.7
	あまりあてはまらない	24.4	8.6	16.1	21.1	19.7	19.5	10.6	5.5
	まったくあてはまらない	4.5	1.6	1.9	3.0	3.1	3.3	4.9	1.9
	無回答	0.7	0.6	0.6	0.8	0.6	0.7	0.7	0.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	よくあてはまる	16.5	21.2	13.4	14.0	21.7	15.5	53.4	69.4
	ややあてはまる	45.7	44.1	44.2	45.1	47.6	47.6	40.1	25.0
	あまりあてはまらない	29.0	26.2	31.9	27.9	21.9	25.9	4.8	3.7
	まったくあてはまらない	4.3	4.2	5.5	5.5	4.0	4.0	0.8	0.8
	無回答	4.3	4.3	5.0	7.5	4.8	7.0	0.8	1.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	よくあてはまる	22.5	41.5	26.0	26.3	23.0	23.0	53.4	67.1
	ややあてはまる	55.1	49.3	53.1	50.0	51.9	53.5	39.3	26.8
	あまりあてはまらない	18.7	7.2	17.3	19.0	19.6	19.7	3.7	3.2
	まったくあてはまらない	2.0	0.9	2.5	2.2	2.8	1.3	2.0	1.2
	無回答	1.6	1.2	1.2	2.5	2.8	2.5	1.6	1.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	よくあてはまる	23.2	50.0	23.2	32.1	25.0	12.5	39.3	55.4
	ややあてはまる	57.1	41.1	46.4	50.0	50.0	44.6	42.9	41.1
	あまりあてはまらない	17.9	3.6	25.0	14.3	19.6	33.9	14.3	0.0
	まったくあてはまらない	0.0	3.6	3.6	1.8	3.6	7.1	3.6	0.0
	無回答	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	3.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 2016年度(平成28年度) 自己評価及び次年度の課題と改善策

【自己評価】 A:達成できた B:概ね達成できた C:やや課題を残した D:課題を残した

評価項目	具体的方策	評価	活動実績	次年度の課題と改善策
りした個性溢れる仲間づく	聖書を学ぶ時間を通し、キリスト教主義の理解を深める	B	聖書に触れ、教員の講話を聞き、真理について考える礼拝の時間を設けている。礼拝は週2回のショート礼拝と隔週のロング礼拝を実施。ただし、生徒の理解度はまだ60%強とやや課題を残している。	現在も正課の授業として聖書を学んでおり、礼拝とともに今後も充実した内容の改善を図っていく。
	行事(文化祭、体育祭など)を通じて、一人ひとりの個性を発揮するとともに、お互いを尊重する風土を醸成する	A	生徒が企画から運営までを手掛け、チームワークや主体性を育成するものとして5月の体育祭、10月の文化祭を実施している。生徒の満足度も高く、80%以上が肯定的評価となっている。	現状の満足度は高く、この水準を維持していくよう努めていく。企画、運営を生徒に任せ自主性を重んじていることが成功の要因といえ、今後も生徒主体の運営を推奨していきたい。
	個性に応じた特別教育(部活動など)の場を設け、一人ひとりの個性を伸ばす活動の場を提供する	A	運動部が18、文化部が18あり、部活動は活発だと生徒・保護者ともに80%以上が評価しており、充実しているものと評価できる。施設・設備の満足度も高く、一人ひとりの個性に応じた活動ができていものといえる。	現状の満足度は高く、この水準を維持していくよう努めていく。一部の部活は海外に遠征しており、国際交流の経験の場となっている。今後も海外を視野に入れた活動も検討していきたい。
た同志社豊ピカリな人材に根ざ成し	海外留学、海外語学研修、海外修学旅行を通して、国際理解を促進するとともに、国際社会への興味関心を深める	A	海外研修のプログラムとして、夏期語学研修ニュージーランド・カナダ、春期語学研修ボストン・イギリス、サンフランシスコ・NUEVA交流、短期留学(オーストラリア、ハワイ)を提供している。修学旅行を含め、人数としては全校生徒の80%が海外渡航経験者となっている。	現状の満足度は高く、この水準を維持していくよう努めていく。海外経験のある生徒数はすでに十分な水準であるので、今後は、研修や旅行の内容を吟味して、より国際理解が進むようプログラムの充実を図っていく。
	海外提携校との交流を促進することによって、日常の学校生活のなかで国際理解を深め、国際人としての素養が身につくようにする	A	海外からの留学生が現在2人在籍しており、在学生との交流を深めている。その他、サッカー部はイングランドへ遠征に行くなどして交流を行っている。	今後は、海外からの留学生の受け入れを促進するとともに、同志社大学に在籍する留学生等との交流も視野に入れた展開も検討していく。また、こちらから海外へ留学する生徒の支援も今後も引き続き注力していく。
	コミュニケーションツールとしての英語教育に力を入れ、読む、書く、聞く、話す能力を授業や課外の活動によって習得できるようにする	B	自分の思いを英語で伝えることを目的に、英語スピーチコンテスト「THE SMALL PLANET」を開催。その他、法人全体の取り組みである「立石杯」に参加。日常的にはネイティブによる授業を6年間実施。高校卒業時100%が英検準2級以上を取得。	英語スピーチコンテストの参加者の裾野を広げるよう、日常の授業のなかで意識的に指導をしたり、ネイティブの授業を中心に、自分の意見を英語で表現できるよう基礎能力の修得に努めていく。
力た同志修得スビをリ育むト確にか根ざ学し	授業を基本に据え、基礎学力の向上を図る。併せて家庭学習による主体的学びの習慣を身につけ、読書等によって教養が広がるようにする	C	授業のわかりやすさは中高ともに75%以上が肯定的評価である。家庭学習は中学・高校ともに平均1時間未満が半数を占め、課題を残している。加えて新聞や本を読む習慣の定着率も低く、今後の指導改善が急務といえる。	学年や教科において、家庭学習の習慣化を図るよう適切な課題や確認テストを充実するよう工夫していく。また、現状も実施している補習を引き続き注力していく。
	表現する機会(文化祭、探究発表など)を通じて、主体的に学び、自分の考えを発表する能力が身につくようにする	B	表現する機会としては文化祭や英語スピーチコンテストが主たるものである。ただし、参加者や発表者は限られた生徒となっており、また回数も年1回と少ない。	現状、行事としての機会提供は文化祭や英語スピーチコンテストであるが、参加者の裾野の拡大を図るとともに、日常の授業においても意識的にプレゼンテーション能力向上の機会創出を図っていく。
	高大連携によって、将来の仕事や学問に対する興味関心の喚起を図り、進路選択を考える機会を提供していく	B	同志社大学の学部説明会は高1～高3生に実施しており、内容の理解度は十分といえる。中学生では情報不足となっており、課題を残している。中学の保護者は進路指導に対して40%が否定的評価となっている。	同志社大学に関する情報提供は高校生に対しては十分であるが、今後は中学生の早い時期から情報提供に留意していく。また、中高6年間を通じて、将来の仕事等も視野に入れたキャリア教育の内容の充実に努める。
科深地め域協働・働分家庭制との学構年連築・携教を	地域活動への積極的参加を促し、保護者に対する情報発信の頻度を高め、教育活動の理解を促進する	B	主としてボランティア部が中心となって、PTAと協力して地域の清掃活動や福祉・児童施設への訪問活動を積極的に実施している。また、海外にも活動を広げておりラオスに学校建設の募金活動も行った。	地域活動やボランティア活動の啓蒙を行い、参加する生徒の裾野の拡大を図っていく。生徒会・自治会、PTA、学年会等での情報発信に努めていく。
	分掌、教科、学年会議を定期的実施し、課題解決に向けて迅速な対応をする	C	分掌、教科、学年の各会議は定期的実施しており、各組織内で情報や課題の共有化に努めている。ただし、実施頻度や討議内容については、不十分との評価もあり、課題を有している。	教員の兼務が多いため、個々の分掌、教科、学年における集合討議や協働の時間がとれない場合がみられることから、今後は業務の整理と優先順位を勘案して、課題解決に取り組んでいく。
	学校評価を通じて、今年度の重点目標のPDCAサイクルを構築する	B	毎年、学校評価委員会を設置して、生徒、保護者、教員のアンケート調査を実施している。調査結果を基に自己評価を行い、ホームページに公開している。	毎年、自己評価を実施しており、今後はPDCAサイクルの内容がより充実するよう管理職、学校評価委員会を中心に改善を図っていく。

6. 2016年度(平成28年度) 学校関係者評価の結果

PTA役員5名と同志社大学の土屋先生の計6名によって学校関係者評価をして頂きました。総合評価はA評価(達成できている)を頂きました。9領域のうち6領域がA評価、3領域がB評価でした。保健管理、情報提供・公開、保護者・地域住民等との連携、教育環境整備は5人がA評価でした。建学の精神・教育目標と安全管理は4人がA評価でした。C評価は、教育課程・学習指導で2名、キャリア教育、生徒指導、情報提供・公開で各1名いました。D評価はありませんでした。6名の平均は以下のとおりとなります。

【学校関係者評価】 A:達成できている B:概ね達成できている C:やや課題を残している D:課題を残している

評価領域	内容	評価	自由記述
1.建学の精神・教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・内容は伝わっていますか ・目標は達成されていますか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「キリスト教主義」教育は同志社の根幹であるため、ほとんどの生徒がそのことを認識していると考えられる。しかしながら、経年変化を見るために質問項目に昨年と同様、「実践」という強い言葉が使われているため、生徒が質問の意図を理解できずに評価が下がったと考えられる。ただし、保護者は意図を理解しているようである。 ・学校に誇りを持っている割合が高いことから、目標は達成されていると考えられる。
2.教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容(授業)は十分ですか ・学習指導(授業)は十分ですか ・家庭学習の指導は十分ですか 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大学受験がないので、社会・英語などセンター試験にでる勉強ではなく、社会・日常生活に結びついた授業内容でユニークである。社会科授業のある日は、子供が家で授業で習った内容をよく話をしてくれる。 ・小学校時代、多くの子が受験のため学習する習慣がついたにもかかわらず、中学入学後、そのせわかついた習慣がなくなってしまう子が多いように思う。 ・中学では教材等が適切に作成され、分かりやすい授業が工夫されている様子が伺えるが、高校ではわかりやすさが低下しているようである。また、授業について行けない率も増加しており、今後の改善が期待される。高校では読書指導の低さが突出しているが、意図が伝わっていない可能性がある。また、高校において自習環境の低さが目立つが、中高においてもラーニング commons的な環境が必要かもしれない。宿題が定期的に出されており、よく指導されている。
3.キャリア教育(進路指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の内容は十分ですか ・キャリア(進路)指導は十分ですか ・中学からの進路指導は十分ですか 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・将来どうなりたいかを考えるきっかけを与えて下さったと思う。 ・息子は卒業生のお話は自分にとって参考になり、良かったと話している。 ・同志社大学の情報は十分であっても他大学への進学情報が少ないのは無理もないが、同志社大学であっても専門内容や大学卒業後のキャリア形成の情報不足が感じられる。 ・将来の仕事についての指導が低評価であることから、大学進学後の学習内容や、さまざまな仕事や学問的興味の喚起といった指導が不十分と感じられる。中学の同志社大の情報不足については、もう少し改善すべき。エスカレーターなので仕方がないが、大学を意識させる努力は必要である。

評価領域	内容	評価	自由記述
4.生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の規律、マナー等は十分ですか ・生徒指導は十分ですか 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の規律、マナーに関しては不十分なところがあるが、学校の問題というより保護者の指導が足りないと思う。 ・通学マナーについては本校に限った話しではないものの、学校の評価に直結するため対策が必要であろう。 ・中学で遅刻や身だしなみへの指導が低く、男子校時代とは変化が見られる。
5.保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康への配慮は十分ですか ・相談対応は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり保健室等にお世話になる生徒が少ないためか、アンケートからは読み取りにくい。
6.安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理対応は十分ですか ・非常時対応マニュアルは十分ですか ・施設、設備の安全管理は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・部外者が校内に入らないように警備員さんが細心の注意を払って下さっている。 ・気象警報が発令された場合、マニュアルどおりに即下校とせず、交通事情を踏まえた上で、学校に待機させるということも選択肢に入れて頂ければいいと思う。 ・通学路も住宅街のため比較的安全であるが、道が狭く曲がりくねっているため、女子生徒が特に不安に思っているかもしれない(今後性別の回答も必要では)。 ・最新の設備を完備しており安全管理については申し分ない。
7.情報提供・公開	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への連絡は十分ですか ・HPなど学校情報の発信は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から文書、書類が保護者に届いていないことが見受けられます。HP、メールなどで確認できる対策をお願いしたい。 ・家庭連絡がやや低いのが保護者への文書連絡は適切であることから、十分と認められる。
8.保護者、地域住民等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携は十分ですか ・地域との交流は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小中学校の方々との情報交換は親としてもとても勉強になり、貴重な体験をさせてもらった。 ・先生が協力的であると感じているようでその点では十分であるが、担任以外での相談体制が若干劣るように感じられる。
9.教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備は十分ですか ・教育環境は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、異常気象(大雨など)がよく起こり、それに対応した施設整備をお願いしたい。 ・施設、設備は最新であり、申し分ないと考えられる。最新設備や情報環境が完備されており、十分である。
10.総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の全体的な評価 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自治自立の精神を教えて頂いたおかげで高校3年間皆勤で通うことが出来た。 ・概ね達成できていると思う。 ・文武両道で生徒さんの目がキラキラしていて、とてもいい環境の中で過ごせていることに感謝です。 ・生徒は全般的に学校生活に満足しており評価できる。これは、同志社の建学の精神が明確であり、愛校精神が育みやすいことが一因であろう。学校経営的には、学力向上に力を置くことが優先されるであろうが、同志社らしい人間力を育む教育も継続されることを望む。

7. 学校評価(自己評価・学校関係者評価)を踏まえた次年度方針

同志社香里中学校・高等学校 校長 福田 耕治

2016年度(平成28年度)は前年度に続き、同志社スピリットに根ざした個性の伸長・国際理解・確かな学力・協働体制の4つを重点目標として教育活動に励んできました。生徒、保護者、教員の三者を対象とする学校評価アンケートを実施し、それを基に学校評価委員会による自己評価を行いました。また、PTA役員及び同志社大学教員による学校関係者評価をして頂きました。学校評価アンケートや学校評価(自己評価、学校関係者評価)の結果及び提案を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしていきます。

1. 学校全体の印象や総合満足について

- (1)「本校に入学してよかった」と90%以上の生徒及び保護者が思っており、学校生活に対する満足度は高い水準にあります。他方、校風の自由さに対して厳しい意見もあり、今後は内実を伴った教育活動を意識して取り組んでいきます。
- (2)そのためにも、同志社教育の柱であるキリスト教主義に基づいた良心教育、自由主義、国際主義の理解度がやや低い傾向にあることから、生徒の理解促進のために年齢に応じた指導方法の工夫を引き続き心がけていきます。

2. 教科・学習指導について

- (1)本校の教科・学習指導について、概ね満足度の高い評価を生徒及び保護者から頂いていますが、本校の特性上、大学受験の意識が低い傾向にあり、学習意欲や学習姿勢に課題がやや見受けられます。
- (2)そのためにも、授業内容や方法のさらなる改善や進路指導との連携を図り、将来を見据えた学習指導の充実を図っていきます。併せて家庭学習の習慣化を図るための指導も充実していきます。

3. 進路指導について

- (1)今回の学校評価で最も評価が低く、期待が大きい領域が進路指導でした。とりわけ中学の段階からキメ細かい進路指導の要望もあり、指導内容の充実を図っていきます。
- (2)同志社大学の情報提供を高1から実施し始めたところ、高校の生徒及び保護者の肯定的評価が上昇しました。引き続き内容を充実させるとともに、今後は中学までを意識した展開を検討していきます。

4. 地域・家庭との連携と協働体制について

(1) 地域・家庭との連携をさらに深める努力をしていきます。とりわけ家庭に対する情報提供は、さらなる充実に心がけ、ホームページなどを利用した幅広い展開を検討していきます。

(2) 教員間、教員・事務間の密接な連携を促進するため、会議の充実を図り、円滑なコミュニケーションができるようマネジメントの工夫を重ねていきます。

以上の内容を踏まえて、2017年度(平成29年度)は以下のような教育改善PDCAサイクルを回すよう努力していきます。

■2017年度(平成29年度) 教育改善PDCAサイクルのイメージ



テーマ1: 中学からの進路指導(キャリア教育、大学情報提供)の内容見直しと充実
テーマ2: 自主的な学習習慣(家庭学習)の定着と校内における自習環境の整備
テーマ3: 部活動と勉強のバランスを図る



進路指導⇒6年間の系統だった指導、同志社大学の情報提供の早期化
自主的な学習習慣(家庭学習)⇒授業での興味喚起、宿題や課題の提供・読書指導の工夫
部活動と勉強のバランス⇒部活動の時間及び休日等の活動内容の見直し



進路指導⇒学校評価アンケートの実施
自主的な学習習慣(家庭学習)⇒学校評価アンケート・学習実態調査の実施
部活動と勉強のバランス⇒部活顧問との調整、学校評価アンケートの実施



進路指導 ⇒ 中学段階からの進路指導、同志社大学への進学(推薦基準等)情報の提供
自主的な学習習慣(家庭学習) ⇒ 学習意欲が増進するよう授業・課題での内容・方法の充実、宿題や課題を通じて家庭学習の習慣化を促進
部活動と勉強のバランス ⇒ 部活顧問との調整、生徒・保護者からの意見収集